

在野の賢人

水を出しっぱなしにしていた小さな私に「水を大切にできないひとは物を大切にしない。物を大切にしない人は人を大切にしない。人を大切にしない人はみんなに信頼されない。だから水は大切にしてください」と静かに諭す人だった。

物を大切にし、常にリサイクルを考え、実践するひとだった。自分のことより、夫や息子・孫、親戚や隣近所の人を大切にするひとだった。お店で出来合いの料理を買うことを拒み、自ら腕を振るって家族の食卓を整え、来客を心からもてなすひとだった。頂き物は大切な時にみんなで頂こうと大切にしまっておくひとだった。騙すより騙される方がいいと、無銭飲食(宿泊)のお客も咎(とが)めることをしないひとだった。お年寄りや体の不自由な人に寄り添い、社会的弱者に共感の心で接するひとであった。信仰心に篤く、祖父母の月命日には欠かさずお寺さんに行くひとであった。

家を守ることを楽しみ、楽しみは食材の買い物と晩酌の小さなビール、そして新聞を隅から隅まで読むことが好きであった。

裏方に徹し、家族や地域のために尽くし、人や物を大切にしていた在野の賢人は、究極の「SDGs」の実践者でもあった。

昭和14年1月3日生まれ、令和3年7月15日(木)2:56永眠。享年83歳、私の母のことである。合掌

(7月19日更新)